

# 令和4年度業務実績評価(案)の概要①

総合評価(案)				S	AA	A	B	C
					3	1		
AA (中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。)				判断理由 大項目4項目中、AA評価が3項目、A評価が1項目であることから、総合評価をAAとした。				
項目	評価(案)	法人の自己評価	理由					
第2 県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	AA	AA	・小項目及び中項目の8項目中、Sが1項目、AAが3項目、Aが4項目。					
1 好生館が担うべき医療の提供及び医療水準の向上								
(1) 好生館が担うべき医療の提供	AA	AA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において、感染症指定医療機関としての医療提供と24時間体制での各種診療センター運営など、高度急性期医療提供体制を両立</li> <li>・入退院支援センターに専門職を増員し、様々な相談に対応できる体制を強化</li> <li>・院内迅速対応チーム(RRT)の運用を開始し、患者の急変兆候を捉えた対応ができる体制を整備</li> <li>・県が実施した新型コロナウイルスワクチン集団接種に協力</li> </ul>					
(2) 医療スタッフの確保・育成	A (R3:A)	AA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の状況(R4:199人、R5:199人)・看護師の状況(R4:588人、R5:581人)</li> <li>・JCEP(日本卒後臨床研修評価機構)に認定</li> <li>・看護師特定行為研修指定施設として運用を継続し、好生館看護師4名が研修を修了(救急領域2名、術中麻酔管理 領域2名)</li> <li>・調理師の欠員に伴い、栄養士が調理業務に従事した結果、栄養指導件数が減少</li> </ul>					
(3) 地域の医療機関等との連携強化	S (R3:AA)	AA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介率・逆紹介率ともに中期計画の目標を上回る、高水準を維持</li> <li>・ピカピカリンク事務局として普及促進し、参加施設数・アクセス数増</li> <li>・紹介患者数が減少している診療科を中心に、地域の医療機関を訪問し、連絡体制強化を図った</li> </ul>					
(4) 医療に関する調査・研究及び情報発信	A	A						
2 看護師等養成所が担うべき看護教育及び質の向上	AA	AA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新カリキュラムの導入、専門・認定看護師を講師とした専門分野の教育の実施など教育内容を充実</li> <li>・看護学科卒業生の県内就職率は78%と高水準を維持</li> <li>・看護学科卒業生の国家試験合格率100%を達成</li> </ul>					
3 患者・県民サービスの一層の向上								
(1) 患者の利便性向上	AA	AA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者満足度調査の結果は高水準を維持(入院97.3%、外来89.1%)</li> <li>・入退院支援センターに専門職を増員し、様々な相談に対応できる体制を強化(再掲)</li> </ul>					
(2) 職員の接遇向上	A	A						
(3) ボランティアとの協働	A	A						

# 令和4年度業務実績評価(案)の概要②

項目	評語 (案)	法人の 自己評価	理由
第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項	A	AA	・小項目5項目中、AA評価が1項目、A評価が4項目
1 業務の改善・効率化			
(1) 適切かつ効率的な業務運営	A	AA	・佐賀県労働基準監督署より所定の休憩時間を与えていないこと、未払いの時間外勤務手当がある旨の是正勧告を受けた ・救急医療の充実とタスクシフトの面から、救急救命士3名を採用し、ドクターカーを運用を再開
(2) 事務部門の専門性向上	AA	AA	・事務職員の職務遂行に必要な知識及び職位に応じた資質向上を目的として、階層別研修及び専門研修を開催
(3) 職員の勤務環境の向上	A (R3:AA)	A (R3:AA)	・佐賀県労働基準監督署より是正勧告を受けたことを踏まえ、勤怠管理システムの改善、労働時間の制度について再周知を行うなど労働時間管理の徹底を図った。 ・医師、看護師、医療従事者等の負担軽減に関する取組を検討し、医師事務作業補助者の増員、救急救命士の雇用、入退院支援センターの拡充等タスクシフト/シェアを推進 ・職員満足度調査では、56/60問が病院ベンチマーク(平均値)よりプラス評価。
2 経営基盤の安定化			
(1) 収益の確保	A	A	・新たな施設基準を取得し、診療報酬改定に適切に対応するなど収益確保に努めているが、病床利用率・病床稼働率が目標未達成
(2) 費用の節減	A (R3:A)	AA	・後発医薬品の導入、価格交渉の取組による費用節減 ・医療機器購入にはベンチマークデータを参考に価格交渉等による、経費削減 ・上記取組により経費削減を図っているものの薬剤比率が目標未達成
第4 財務内容の改善に関する事項	AA	AA	・R4決算の経常収支比率は100%超(103.0%) 経常利益は600,806千円
第5 その他業務運営に関する重要事項	AA	AA	・中項目3項目中、S評価が1項目、A評価が2項目
1 県との連携	S	S	・新型コロナウイルス感染症への対応について、県の取組に積極的に協力
2 地方債償還に対する負担	A	A	
3 病院施設の在り方	A	A	